

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0
2021年10月5日

事業名:	日常に困難を抱える子と保護者への支援
資金分配団体:	公益財団法人信頼資本財団
実行団体名:	一般社団法人育ちとつながりの家ちとせ
実施時期:	2020年5月～2021年2月
事業対象地域:	京都府近郊
事業対象者:	困りを抱えた子どもや若者とその家族

I. 事業概要

事業概要
子や若者の引きこもり、不登校、行き渋り増加という社会問題に対して又は予防策として、発達障害等の生きづらさ、育ちづらさを抱える子や若者にフリースクール事業や親子通園事業の中で遊び、活動を通じてソーシャルスキルトレーニングや身体のワーク、認知トレーニング、学習等を応用行動分析学に基づいた療育的支援として提供する。その結果として、将来社会につながり安定した生活を送り、自己実現や社会活動を行うことができる基盤となる。同時に保護者に家庭での関わり方を伝え、子への適切な関わりを継続して行えるよう支援を行う。指導者（法人スタッフ向け）のスキルアップや支援者（保護者向け）育成にも取り組む。

II. 進捗報告の概要

総括
今回の事業実施で達成されるべき状態については全てほぼ計画通りに進んでいる。また、日々の生活の中の困りを解決していただけることを社会に広く浅く知ってもらう機会として、新たにFBにてグループを作成し、密度の濃い支援内容を支援対象者に向けて発信している。さらに8月にリアル1回とzoom2回のお話会、計3回を開催。そこで繋がった方々を少し進んだ支援に結びつけるためのzoomケースワーク会を9月に1回開催した。zoomケースワーク会は継続して利用できるシステムとしているが、開催頻度は利用者の状況を見ながら調整していく予定である。子どもの困りを感じているが本格的な支援を始めることには躊躇してしまうタイプの親御さんや、漠然と困っているが何が問題なのかわからないという状況の親御さんへの気軽に入れる入り口としての機能を担えることを期待している。 施設の改修工事等については、セッションルームの床の張替え、トイレの水洗化に必要な下水道工事、トイレの改修・増設、感覚統合遊具の吊り具設置工事、キッチンの改修等主要な工事が9月上旬に完了。雨漏り対策、傷んだ壁の塗り替え工事を冬までに着工予定。工務店と日程調整中。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>1 コロナによる収入の影響を受けている/受けていないに関わらず、「非課税世帯」もしくは「準保護世帯」でありさらに預貯金が300万円以下の世帯で、生きづらさや育ちづらさ等の困りのある子（就学前・就学後・卒業後問わず）と保護者が10組A~Eの支援を無償で受けられる。</p> <p>A:初回カウンセリング（3000円/h） B:特別児童扶養手当受給フォロー（3000円/h） C:関わり方トレーニング（20,000円/1.5h） D:フォローカウンセリング（3000円/h） E:フリースクール利用週1回（13,500円/月）</p> <p>2 新規の問い合わせから着実に支援に結びついている（①の親子を含む）。</p> <p>3 法人からの支援プラン提示後に、子と保護者が申し込んだ事業の利用日数に対し、安定して参加することができている（指導者からのフォロー体制や支援者育成がうまく機能している。）</p> <p>4 指導者・支援者スキルアップのための動画コンテンツの制作に向けて必要な準備を整えられ、2本分のコンテンツが撮影できている。</p> <p>5 日々の生活の中の困りを解決していけることを、社会に広く浅く知ってもらう機会として、無料動画コンテンツを2本作成して、社会への啓発活動及び公報に使っている。</p>	<p>1 6月より10名の親子に支援を開始。A~Eより各子どもの状況に合わせて支援額を上限164,000円/組とし、2月までの支援プランを組み予定通り実施している。当法人のフリースクールを利用している親子の中で9組の申し込みがあったため、Eの支援を中心に支援プランを立てている。スクールの利用状況に合わせて週2回利用分の会費を無償にしているケースもある。このサービスを受けることで、利用回数を増やす、個人セッションを受ける等これまで経済的理由で諦めていた支援回数をふやすことが可能となっている。</p> <p>6月からスタートした10組の内1組、親御さんが子どもの支援を継続することが困難になり、1か月程で支援を中断したケースがあった。支援額16万円の内4万円程残ってしまったが、1組新たに申し込みがあったため、4万円分の支援プランを立て実施している。</p> <p>2 新規問い合わせ11件中72%に当たる8件が事業の利用に結びついている。目標値相当。</p> <p>3 利用者の申し込み日数通りの利用がほぼ叶っている。</p> <p>4 1本の動画講座が完成し、指導者・支援者の育成に使用している。残り1本分の動画については作成の素材となる動画を撮りためている。</p> <p>5 無料動画コンテンツを1本作製しSNSやHPで公開済。新たな取り組みとしてFBグループ開設、お話会、zoomケースワーク会を開催した。</p>

活動	進捗状況	概要
<p>1 ・無償枠利用者の募集・10組の対象家庭を決定 ・支援プランの作成 ・「子どもの状態・親の気持ち表現シート」記入 ・支援プランに基づく支援の実施 ・1組の支援を中断。状況</p>	<p>1 ほぼ計画通り</p>	<p>1 ・5月無償枠利用者募集。10組全て決定。1組あたり164,000円分の支援をプランニングし、6月より支援開始。計画通り進めている。 ・中断した家庭の残額4万円分の支援を追加した1組にプランニング済。11月より支援開始予定。</p>

<p>の把握、聞き取り調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加で1組対象家庭を決定し、支援プランを立てた。 <p>2 ・新規問い合わせの受付と支援の案内</p> <p>3 ・全ての利用者への支援プランの提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望するプログラムの調査 ・予約フォームによるスクールの利用申し込み受付と調整 ・継続した支援を行うための利用者親子へのサポート <p>4 ・ビデオカメラ、マイク等動画撮影に必要な機器の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2本分の講座内容の作成 ・動画の撮影・編集 <p>5 ・無料動画コンテンツ作成・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBオンラインサロン「子育て羅針盤」を開設 ・お話会開催 ・zoom ケースワーク会開催 <p><施設改修></p> <ul style="list-style-type: none"> ● セッションルーム床張替え ● 下水道工事 ● トイレの改修・増設 ● キッチン改修 ● 感覚統合遊具設置 ● 遊具設置場所のコンクリート張替え 	<p>2 計画通り</p> <p>3 ほぼ計画通り</p> <p>4 計画通り</p> <p>5 計画通り</p> <p><施設改修> ほぼ計画通り</p>	<p>2 電話やメールによる問い合わせの受付。状況の聞き取りを行い、適切な支援メニューに誘導。10月までに11件の問い合わせがあり、8件が支援の利用につながった。</p> <p>3 ・学習や人間関係での躓きが起こり、7月にフリースクール事業に参加している30名の内2名の出席が不安定になった。本人へのアプローチや親御さんへの家庭での関わり方の指導等で1か月程度で精神状態が改善し、出席状況も改善している。夏休みが明けた9月からはほぼ希望通りかそれ以上の利用状況に回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子どもの状況に合わせて必要な支援プログラムを随時追加する等、時を逃さない柔軟なフォローを行っている。 <p>4 ・6月に動画講座1本が完成し、支援者・指導者の育成に利用している。9本販売。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2本目の講座の素材となる動画を撮りためている。 <p>5 ・8月に無料動画を作成し、SNS・HP等で公開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FBグループ「子育て羅針盤」メンバー数133名(10月4日現在) ・フリースクール利用者からの要望で8月にお話会をリアル1回・zoom2回、計3回開催。参加者15名。 ・9月に第1回zoomケースワーク会を開催。参加者7名。2回目を11月に開催予定。開催頻度等検討中。 <p><施設改修></p> <p>屋根の雨漏り対策、カウンセリングルームの壁の塗り替え工事が残っており、子ども達の活動に支障なく実施できるよう工務店と日程調整中。</p> <p>感覚統合セッションを11月より開始予定。</p>
---	--	--

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述

当法人のフリースクールを利用する親子は子どもだけでなく親御さんも困難を抱えているケースが多いため、お互いの困難が相まって暴言を吐きあったり、対応の仕方がわからず関わることを諦めてしまっていた家庭が多いが、適切な支援を行い、親御さんに家庭での適切な関わり方を獲得してもらうことで、子どもの良い行動が増え、親子の関係性が改善している。

今回の助成で低所得層の家庭への無償支援を提供できたことで、経済的な事情から必要な支援を受けることが叶っていなかった親子にも希望する支援を受けてもらうことができ、社会生活に必要な力をつけるために最適な質量の支援を提供することに貢献している。

動画コンテンツやオンラインサロン、お話し会、zoom ケースワーク会等、経済的負担が少ない学びのコンテンツを充実させ、指導者育成や支援者育成拡大に取り組んでいる。動画コンテンツの販売数9本、FB グループのメンバー数133名等順調に計画が進んでおり、広く浅く社会に訴えることも進めている。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥19,452,500	¥19,452,500	¥7,495,807	39%
	管理的経費	¥0	¥305,280	¥305,280	¥60,534	20%
合計		¥0	¥19,757,780	¥19,757,780	¥7,556,341	39%

補足説明

直接事業費にあたる工事費用の内 2,683,597 円の支払いが前期の助成金残高では一括で支払えなかったため、後期の入金があり次第支払う予定。

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

無償枠で支援を行っていた1組が1か月程で継続が困難となり、中断せざるを得なくなった。母子家庭で、母子ともに自閉症、知的能力境界域、鬱病であり、母はパニック障害があり外出困難、お子さんは精神科への入退院を繰り返している等非常に難ケースであった。母の抱える困りにより仕事が続かず収入が得られない状況であり、有料のサービスを受け辛い経済状況であることから、これまで当法人の支援の対象とならなかったケースであったが今回の助成をきっかけにこのような難ケースの支援へとつながった。お子さんの状態が支援開始から2週間程で大きく改善する等、当法人が行う支援の内容が難ケースのお子さんにも非常に有効であることがわかった。しかし母の困りが想定以上に強く、相互理解が十分に図れず中断に至った。

今回の結果から、このような難ケースの親子への最適な支援を実現するためには、現状では急性期は特に月20~30万円相当の支援が必要であり、最低でも1年間指導を継続できるように予算と対応できる指導者の確保が必要であることがわかった。現在の法人の規模では今回のようなケースへの対応は困難であるが、今後指導者の育成を進めていく中で、人数・質ともに難ケースの親子にも対応できる基盤を作ることも目指したい。また、社会への啓発活動を進める中で、困りを抱える親子はもちろん、そのような親子に関わる支援者に適切な関わり方を知ってもらい、幼い内から適切な支援を受けられる子どもを増やすことで、難ケースに陥ることを防ぐことに貢献したい。

VII. その他

自由記述

当法人の事業を利用している家庭の中で、低所得になっている家庭を観察すると、親御さんに発達障害やその傾向のある家庭が多数を占めていることがわかる。これらの人たちは社会で活躍できる場が少なく、収入を得づらいという社会背景がある。親の収入に関わらず、脳の可塑性が期待できる幼い時期から適切な支援を受けられる子を増やすこと、保護者が家庭で適切な関わりを行うことを支援する必要がある。支援を保障することで、子どもが将来社会で適応していける力、また親となった時適切に療育できる力をつけていき長期視点で貧困の連鎖を断ち切るという社会課題を解決することも目指したい。

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	